

盛岡市総合計画実施計画

－ 令和 3 年度実績（戦略プロジェクト） －

目次

戦略プロジェクトの概要.....	1
資料の見方.....	2
重点1 未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト.....	3
■ 重点事業の実績.....	3
■ 指標の状況.....	5
■ 主な成果と課題.....	7
■ 今後の方向性.....	8
重点2 みんなが支える子ども・子育て安心プロジェクト.....	9
■ 重点事業の実績.....	9
■ 指標の状況.....	11
■ 主な成果と課題.....	12
■ 今後の方向性.....	13
重点3 2020 あつまる・つながるまちプロジェクト.....	14
■ 重点事業の実績.....	14
■ 指標の状況.....	16
■ 主な成果と課題.....	17
■ 今後の方向性.....	18

戦略プロジェクトの概要

■ 戦略プロジェクトについて

基本目標を達成するため、各分野の29施策において、それぞれ取組を推進していく一方で、未来に向け、特に重点的・施策横断的に取り組む必要のある課題に対応するため、施策単位での取組を連携させながら事業実施の効果を高め、課題を解決し、基本目標の達成や将来像の実現を目指していく必要があります。

このことから、「社会の潮流」や「まちづくりを考える上で重視する視点」等から導かれる本市の課題を踏まえた、重点的・施策横断的な取組を「戦略プロジェクト」として展開します。

■ 戦略プロジェクトの取扱い

戦略プロジェクトは、毎年見直しを行い、戦略プロジェクトの加除のほか、戦略プロジェクトを構成する重点事業の加除を行いながら、弾力的で効果的な運用を図ります。

■ 施策間の連携

「戦略プロジェクト」に掲げる事業は、「まちづくりの取組」に掲げる施策の中に含まれますが、施策横断的に取り組むことにより、効果的な連携を図ります。

■ 取組期間

概ね3年を目途に重点を置いた取組を進めます。

■ 取組項目（令和3年度）

重点1 未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト（2年目）

重点2 みんなが支える子ども・子育て安心プロジェクト（4年目）

重点3 2020あつまる・つながるまちプロジェクト（4年目）

資料の見方

戦略プロジェクトごとに主な取組内容を掲載しています。

重点1 未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト

(取組期間：令和2年度～令和4年度)

ものづくり人材や意欲ある農林業の担い手の育成、支援など、若者を中心とした盛岡で働く人を育てるとともに、戦略的な企業誘致や新産業等用地の整備、地元企業への支援などを通じて、働く場の創出を推進しました。

戦略プロジェクトを構成する重点事業ごとに計画額と実績を掲載しています。

No.	重点事業	施策番号	計画額	実績額	翌年度繰越額
1	工業振興事業(盛岡AI・IoTプラットフォーム)	23	7,000	6,810	0
2	若者の就業支援事業(ふるさとワーキングホリデー)	19	6,592	6,500	0

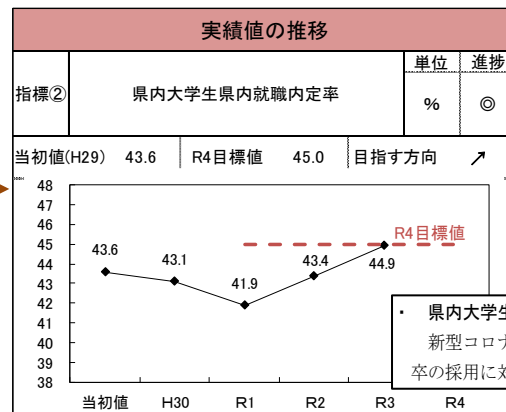
・ 農業生産対策事業(スマート農業導入促進事業)

農業用ドローン本体導入とオペレーター認定を取得について、当初想定(本体5台、講習17人)に対し、対象者が少なかつたため(実績:本体3台、講習11人)、実績額が小さくなりました。

計画額と実績額の乖離が大きい事業があった場合、要因を掲載しています。

進捗を客観的に測るために設定した指標の状況や分析結果を掲載しています。

- ・ 「性格」欄の「↑」は数値を上げていくことを、「↓」は数値を下げていくことを、「→」は現状を維持していくことを目標としています。
- ・ 「状況」欄の「☆」は目標値に到達、「◎」は目標値に向け順調に推移、「○」は目標値に向け推移、「△」は遅れが生じていることを表します。但し、取組最終年度のプロジェクト(「重点2 みんなが支える子ども・子育て安心プロジェクト」及び「重点3 2020あつまる・つながるまちプロジェクト」)においては「☆」以外は全て取組最終年度の目標値を達成できなかったことを表します。



- ・ 県内大学生県内就職内定率/◎ 目標値に向け順調に推移
新型コロナウイルス感染症の影響により、学生の地元志向が強まったこと、企業側においても新卒の採用に対して積極的であったことが影響していると考えられます。

令和3年度の取組による主な成果と課題を掲載しています。

■ 主な成果と課題

- ・ 若者が盛岡でやりがいのある仕事に就き、暮らし続ける
.....

指標の分析、主な成果と課題を踏まえた今後の方向性を掲載しています。

■ 今後の方向性

- ・ 若者が盛岡でやりがいのある仕事に就き、暮らし続ける
.....

重点1 未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト

(取組期間：令和2年度～令和4年度)

ものづくり人材や意欲ある農林業の担い手の育成、支援など、若者を中心とした盛岡で働く人を育てるとともに、企業誘致や新産業等用地の整備、地元企業への支援などを通じて、働く場の創出を推進しました。

また、テレワーク等ICT活用による新しい働き方の導入、AI、IoT等の新技術の活用による生産性の向上、盛岡産農畜産物の優位性を生かした付加価値向上など、地元企業や農業などの効率性や生産性を高め、地場産業の基盤の安定化と魅力向上により、地域経済の活性化と人口流出の抑制を図りました。

重点事業の実績

(単位 千円)

No.	重点事業	施策番号	計画額	実績額	翌年度繰越額
1	工業振興事業(盛岡AI・IoTプラットフォーム)	23	7,000	6,810	0
2	若者の就業支援事業(ふるさとワーキングホリデー)	19	6,592	6,500	0
3	農業生産対策事業(スマート農業導入促進事業)	21	5,550	2,971	0
4	農業改良普及事業(輸出支援事業)	21	1,000	1,000	0
5	盛岡りんご担い手バックアップ事業(りんご剪定作業担い手育成補助金)	21	800	800	0
6	盛岡の食材プロモーション事業	21	3,351	3,351	0
7	雇用対策推進事業 新卒・若者就業支援事業	25	1,382	1,382	0
8	雇用対策推進事業(U・Iターン、移住支援事業)	25	6,528	6,096	0
9	雇用対策推進事業(魅力ある職場づくり推進事業)	25	1,096	1,096	0
10	若者の就業支援事業(高校生インターンシップ事業・スキルアップ支援事業)(高校生地元就職フォローアップ事業)	19	2,319	2,267	0
11	若者の就業支援事業 (ジョブカフェいわて運営事業)	19	5,004	5,004	0
12	若者の就業支援事業(新社会人就職定着支援事業)	19	1,975	1,975	0
13	商業振興事業(中小企業人材育成支援事業)	22	200	0	0

No.	重点事業	施策番号	計画額	実績額	翌年度繰越額
14	工場新設拡充等事業	25	53,018	70,833	0
15	工業振興事業(製造業及び情報サービス業市場開拓等事業補助金)	23	550	100	0
16	工業振興事業(企業サポート専門員)	23	2,892	2,892	0
17	産業支援事業	23	1,218	1,114	0
18	成長分野拠点形成支援事業	23	31,930	29,095	0
19	ものづくり産業魅力向上事業	23	1,265	500	0
20	ものづくり人材育成事業	23	137	112	0
21	盛岡テクノミュージアム設置事業	23	250	0	0
22	産業支援センター管理運営事業	23	16,573	16,572	0
23	産学官連携研究センター管理運営事業	23	18,433	17,981	0
24	新事業創出支援センター管理運営事業	23	7,893	8,238	0
25	起業家支援事業	23	100	100	0
26	新産業等用地整備事業(特別会計)	23	48,772	72,646	0
27	新規就農支援事業	21	23,235	17,685	0
28	食と農のバリューアップ推進事業	21	25,057	23,743	0
29	林業労働対策事業	21	494	491	0
全29事業 事業費合計			274,614	301,354	0

- ・ 農業生産対策事業(スマート農業導入促進事業)
農業用ドローン本体導入とオペレーター認定の取得について、当初想定(本体5台、講習17人)に対し、対象者が少なかったため(実績:本体3台、講習11人)、実績額が小さくなりました。
- ・ 商業振興事業(中小企業人材育成支援事業)

感染症の影響により、人材育成研修の中止・延期が相次ぎ、支援要件に該当する当該研修の受講者が減少し、伴って補助の申請が無かったため、実績額が小さくなりました。

- 工場新設拡充等事業

令和2年度に引き続き、設備等への投資が行われているため、実績額が大きくなりました。

- 工業振興事業（製造業及び情報サービス業市場開拓等事業補助金）

新型コロナウイルス感染症の影響により、国内外の展示会の中止及び延期並びに出展者の出展控えにより、補助金の活用が減少したため、実績額が小さくなりました。

- ものづくり産業魅力向上事業

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を鑑み、首都圏への職員派遣を見送ったため、実績額が小さくなりました。

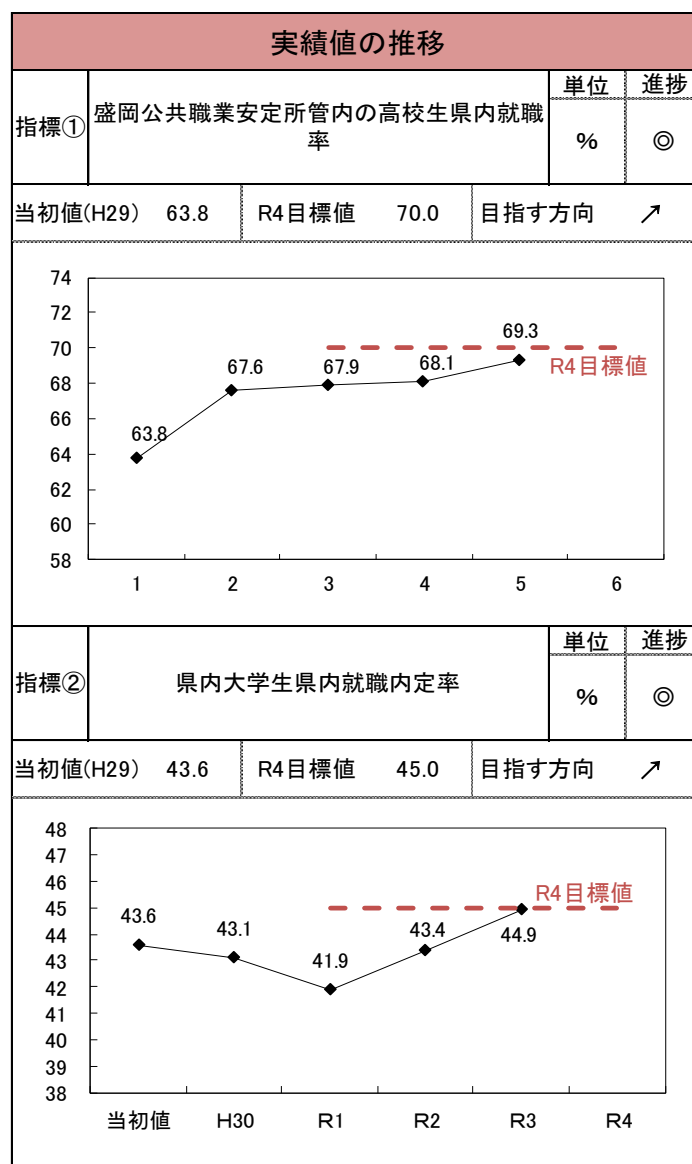
- 盛岡テクノミュージアム設置事業

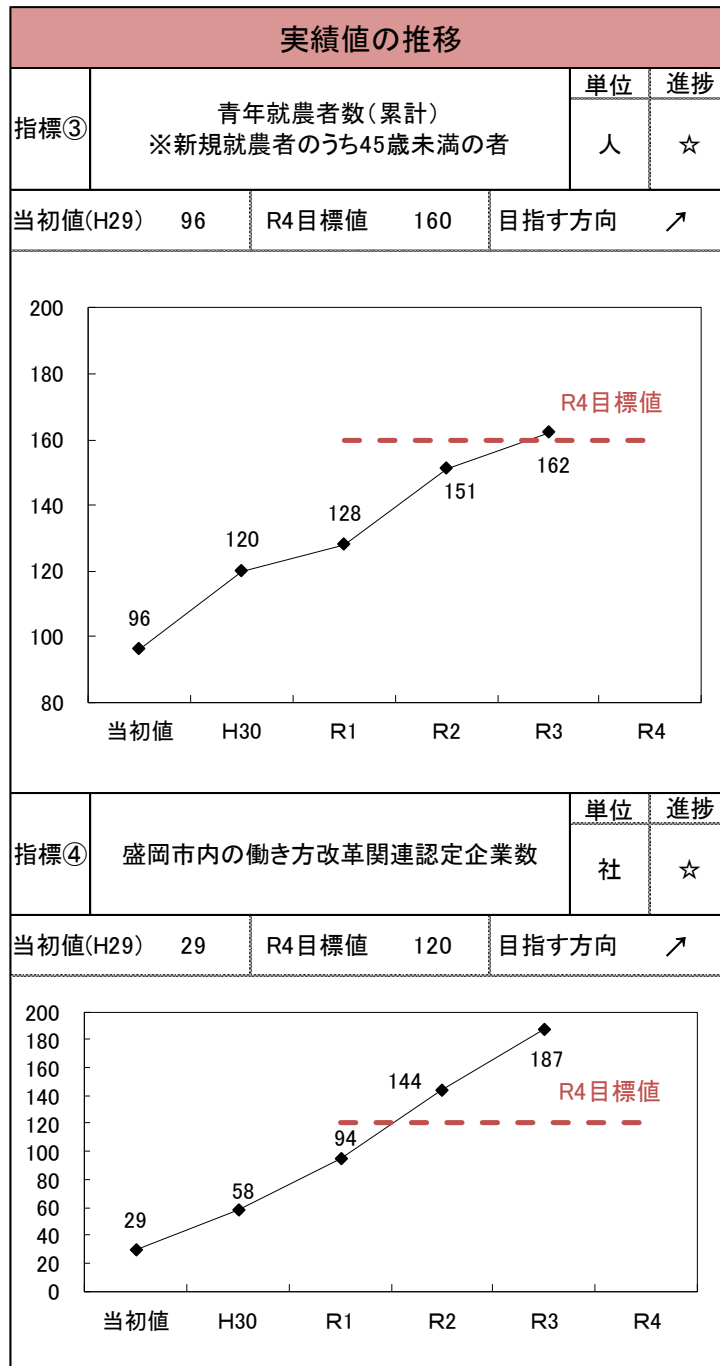
新型コロナウイルス感染症の影響により、学生の見学を制限する傾向が生じ、補助申請が無かったため実績額が小さくなりました。

- 新産業等用地整備事業（特別会計）

第二事業区の用地取得にあたり、地権者の要望により代替地の取得が必要となったため、実績額が大きくなりました。

■ 指標の状況





- ・ 盛岡公共職業安定所管内の高校生県内就職率／◎ 目標値に向け順調に推移
 新型コロナウイルス感染症の影響により、地元志向が強まったことに加えて、商工関係団体に対する求人確保の要請や、求人票の早期提出を各機関が呼びかけたことにより、県内の求人情報を高校生が早期に知ることができたことで県内就職率の増加につながりました。
- ・ 県内大学生県内就職内定率／◎ 目標値に向け順調に推移
 新型コロナウイルス感染症の影響により、学生の地元志向が強まったことと、企業側においても新卒の採用に対して積極的であったことが影響していると考えられます。
- ・ 青年就農者数(累計)※新規就農者のうち45歳未満の者／☆ 目標値に到達
 全国的な田園回帰の潮流により、農のある生活に新たな価値が見い出されていることが順調な推移に繋がっていると考えられます。
- ・ 盛岡市内の働き方改革関連認定企業数／☆ 目標値に到達
 ワーク・ライフ・バランスの推進への取り組みの必要性が、企業に浸透してきているものと考えられます。

■ 主な成果と課題

・ 若者が盛岡でやりがいのある仕事に就き、暮らし続ける

(成果)

ハローワークや県、市がそれぞれ地元企業を学生が知るための取組を行いました。そのうち、高校生を対象としたインターンシップ事業や、就職面談会が地元企業を知るきっかけとなったと考えられます。

また、大学生に対してはジョブカフェいわて運営事業により、多くの学生にきめ細やかな就職支援を行ったほか、オンラインでの就職面談会や企業研究会、対面型の就職ガイダンスの開催により企業情報の発信に取り組みました。これらの取り組みにより、県内就職率の増加につながりました。

(課題)

大都市圏の企業と比較した場合に、賃金などの待遇差があることや、企業の知名度が比べて低いことから、一定数県外での就職を選択する傾向にあります。地元企業の働く場としての魅力の向上を図るとともに、大都市圏との待遇格差の縮小に資するため地域経済を活性化させ、企業収益向上を目指す取組を行う必要があります。

・ 地元企業及び農林業の基盤を安定化させ、魅力を向上させる

(成果)

国をはじめ、県、市など様々な機関が、ワーク・ライフ・バランスの推進に向けた取組を呼び掛けたほか、研修会等を開催したことで、ワーク・ライフ・バランスの取組の必要性が地元企業に浸透してきていると考えられます。

農業次世代人材投資資金や親元就農給付金の交付が、新規就農を後押ししています。

また、直近3年間の新規就農者数の約半数が、農業法人・団体に職を得る「雇用就農」であり、法人等が新たな担い手を確保・育成する受け皿となっていることから、新規就農者数が順調に増加しています。

(課題)

働き方改革に取り組むためのセミナーを開催するなど、地元企業の取組を引き続き支援する必要があります。

また、新型コロナウイルス感染症の流行下において、ICTを活用しテレワークなどの新しい働き方が進展しており、今後もAI、IoTの技術など新しい社会の動きを捉え生産性の継続的な向上につなげていく必要があります。

「農業は儲からない」「生活するための十分な所得が得られない」「体力的にきつい」などの負のイメージが払拭されていないと推定されますので、イメージの向上を図る必要があります。新規就農者は、農地や農業用機械の取得が必要であり、他産業に比べても初期投資が大きいと推定されるので、支援の継続が必要です。

■ 今後の方向性

令和4年度から新たに「未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト」として取組の方向性を次のとおり定めました。

1 DX時代のしごとづくり

国によるデジタル実装を通じた地方活性化の推進により、IT分野の需要が更に高まっていくことを見据え、若者をひきつける魅力的な働く場を創出するため、企業誘致やIT産業が集積する本市の強みを活かした異業種間のマッチングやクラスター形成支援に取り組みます。また、AI、IoT等の新技術を活用した生産性向上や新たな事業展開による地元企業の雇用拡大を支援するほか、社会の変化を捉えた新たなビジネスの創出を支援します。

2 若者と地元産業をつなぐ

若者と地元産業をつなぎ、本市への定着を図るため、コロナ禍における地方・地元志向の高まりを好機と捉え、高校生や大学生等が学校の枠組みを超えて地域を知り、社会人と交流しながら地域課題の解決に取り組む場の提供や、若者が本市で働き、生活することの魅力を効果的に発信するとともに、ふるさとワーキングホリデーや就職ガイダンス等により地元企業の認知度の向上や就業希望者とのマッチングを支援するほか、就職後における新社会人マナー研修等のフォローアップ支援に取り組みます。また、特に人手不足が深刻な保育士や介護職については、奨学金返還支援等により東京圏との待遇差による影響の解消に努めます。

3 仕事と子育ての希望をかなえる

女性が安心して子どもを産み育て、社会進出しやすい環境づくりを推進するため、ICTを活用した働き方改革等、地元企業によるワーク・ライフ・バランスの取組を支援します。また、SNSを活用した効果的な子育て情報の発信や、子ども未来基金を活用した子育て支援、児童センター整備等による就学期の子どもの居場所づくりに取り組むほか、男性の育児参画や働く女性の交流を支援します。

重点2 みんなが支える子ども・子育て安心プロジェクト

(取組期間：平成30年度～令和3年度)

若い世代や子育て世代が、希望を持って子どもを産み育てることができるよう、さまざまな子育て支援ニーズに柔軟に対応するための支援を行うなど、子育て環境を充実させました。

また、子育ての相談や子どもの健全な成長を支援する体制の充実を図り、盛岡に住み続けたいと思える、安心して子育てのできるまちの実現を図りました。

■ 重点事業の実績

(単位 千円)

No.	重点事業	施策番号	計画額	実績額	翌年度繰越額
1	支援対象児童等見守り強化事業	2	8,800	6,686	0
2	児童館整備事業((仮称)太田児童センター整備事業)	2	6,000	4,605	0
3	私立児童福祉施設運営費助成事業(医療的ケア児保育支援事業)	2	7,338	6,900	0
4	特別支援教育事業(医療的ケア学校看護師の配置)	17	4,460	4,304	0
5	母子保健事業(産後ケア事業)	2	1,545	820	0
6	学習支援事業	6	23,422	22,421	0
7	地域児童クラブ等運営事業(低所得世帯、第2子以降への利用料の助成)	2	13,985	18,218	0
8	児童館整備事業((仮称)見前北児童センター整備事業)	2	189,678	114,597	0
9	児童館整備事業((仮称)向中野児童センター整備事業)	2	15,534	11,440	0
10	児童館管理運営事業 (児童厚生員の適正配置)	2	26,832	26,832	0
11	ひとり親家庭等日常生活支援事業	2	1,216	999	0
12	子ども未来基金事業	2	16,069	13,047	0
13	子育て応援プラザ運営事業	2	27,154	27,659	0
14	子ども家庭総合支援センター事業	2	22,042	19,287	0
15	養育支援訪問(家事援助)事業	2	1,188	886	0

No.	重点事業	施策番号	計画額	実績額	翌年度繰越額
16	子育て世代包括支援センター事業	2	10,427	11,106	0
17	乳児家庭全戸訪問等事業	2	5,611	5,613	0
18	母子保健事業(産婦健康診査事業)	2	16,651	18,247	0
19	障がい者相談支援事業(児童に特化した相談窓口の設置)	5	4,800	4,800	0
20	就学援助事業(新入学児童学用品費の入学前支給)(小学校)	17	9,855	9,293	0
21	就学援助事業(新入学生徒学用品費入学前支給、クラブ活動費支給)(中学校)	17	24,005	22,354	0
全21事業 事業費合計			436,612	350,152	0

- ・ 母子保健事業(産後ケア事業)
 デイサービス型は、令和3年9月から開始したため、見込みより利用が少なくなりました。また、コロナ禍による利用控えもあったと思われるため、実績額が小さくなりました。
- ・ 地域児童クラブ等運営事業(低所得世帯、第2子以降への利用料の助成)
 令和2年度から事業を開始し、令和3年度にかけて対象者への周知が進み、申請者数が見込みを上回ったことにより、実績額が大きくなりました。
- ・ 児童館整備事業((仮称)見前北児童センター整備事業)
 ウッドショックの影響により、工期が令和4年5月15日まで延長したことに伴い、令和3年度の実績額が小さくなりました。

■ 指標の状況

実績値の推移																	
指標①	1月1日現在の待機児童数	単位 人	進捗 ☆														
当初値(H28)	218	R3目標値	0														
		目指す方向	↘														
<table border="1"> <caption>指標①実績値の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>218</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>				年度	実績値	当初値	218	H29	180	H30	84	R1	40	R2	0	R3	0
年度	実績値																
当初値	218																
H29	180																
H30	84																
R1	40																
R2	0																
R3	0																
指標②	まちづくり評価アンケート調査「子育てを楽し いと感じている」と答えた子どものいる親の割 合	単位 %	進捗 ☆														
当初値(H28)	74.0	R3目標値	80.0														
		目指す方向	↗														
<table border="1"> <caption>指標②実績値の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>74.0</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>70.0</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>74.2</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>79.7</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>79.3</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>82.1</td> </tr> </tbody> </table>				年度	実績値	当初値	74.0	H29	70.0	H30	74.2	R1	79.7	R2	79.3	R3	82.1
年度	実績値																
当初値	74.0																
H29	70.0																
H30	74.2																
R1	79.7																
R2	79.3																
R3	82.1																
指標③	まちづくり評価アンケート調査「盛岡市の子育 て支援策・支援活動が充実していると感じる」 と答えた市民の割合	単位 %	進捗 ○														
当初値(H28)	15.2	R3目標値	42.0														
		目指す方向	↗														
<table border="1"> <caption>指標③実績値の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>15.2</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>15.9</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>19.9</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>18.9</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>23.2</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>19.0</td> </tr> </tbody> </table>				年度	実績値	当初値	15.2	H29	15.9	H30	19.9	R1	18.9	R2	23.2	R3	19.0
年度	実績値																
当初値	15.2																
H29	15.9																
H30	19.9																
R1	18.9																
R2	23.2																
R3	19.0																

- ・ 1月1日現在の待機児童数／☆ 目標値に到達

順調に目指すべき方向に進んでいます。社会福祉法人等からの保育所開設相談に応じるとともに、保育所等の整備を行ったことや、定員を超えた児童の受け入れに対する補助の基準日を年2回としていること、若手保育士が働き続けられるよう経済的支援の拡大による保育士確保が要因と考えられます。

- ・ まちづくり評価アンケート調査「子育てを楽しんでいると感じている」と答えた子どものいる親の割合／☆ 目標値に到達

保育環境の充実により、令和2年度以降、4月1日時点のみならず1月1日時点においても待機児童0人を達成したほか、児童センターや放課後児童クラブの計画的な整備による放課後の児童の居場所の拡充、育児不安解消に向け、産後ケア事業や子育て相談の充実、年収550万円未満相当の世帯における第2子以降の保育料の無償化や各種医療費助成制度による経済的負担軽減策の取組等により、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援施策が評価されたものと考えます。

しかし、核家族化の進行を背景に、子育て支援ニーズが多様化・複雑化しており、妊娠期・出産期から就学期に至るまでの切れ目のない支援策の一層の充実が求められています。

- ・ まちづくり評価アンケート調査「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合／○ 目標値に向け推移

依然として目標値には大きく届かない状況で推移しています。

これまで、待機児童対策緊急プロジェクトや、児童の放課後の居場所の整備、子育て世帯への経済的支援策の拡充など、各般の施策を推進してきたところですが、目標達成に向けて、今後、ニーズを捉えた更なる施策の充実に努める必要があります。

■ 主な成果と課題

- ・ 年間を通じた待機児童の解消

(成果)

児童福祉施設の整備支援、認可保育所や小規模保育所等の定員拡大を進め、令和3年4月入所に向けて114人の定員拡大を行いました。

また、165名への保育士奨学金返還支援補助、30事業者・延べ48施設への保育士宿舍借上げ支援事業補助、32事業者・延べ48施設への若手保育士処遇改善事業補助を行い、保育士確保に結びました。

(課題)

空き待ち児童も含め、年間を通じた保育所入所希望者全員の入所には至っていない一方で、年度前半の時期において、0歳児の入所児童数が減少しており、保育所等の収入が減ることから、施設の運営に影響が出始めています。

保育所や認定こども園においては、保育士が見つかりにくく、確保が難しい状況が継続している上、新型コロナウイルス感染症対策のため、保育士の業務量が増大していることから、保育士の負担軽減策が必要です。

- ・ 育児不安解消への取組

(成果)

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中でも、子育て応援プラザma*mallの3年度の利用者が4,725人と、前年度から1,445人増加しました。

また、子ども家庭総合支援センターの職員体制の強化により、延べ相談対応件数は年々増加しており、令和3年度は開設以降最多の9,485件となりました。

育児不安解消に向け相談窓口や産後ケアの充実、地域で子育てを見守る活動への支援及び子育て世帯の経済的な負担軽減策等を実施したことで、子育ての不安感や孤立感の解消につながりました。

(課題)

まちづくり評価アンケートにおける「子育てを楽しんでいると感じている」割合は、目標値に到達しましたが、児童虐待等の相談件数が年々増加しており、今後更に増加していくことが懸念されるため、関係機関との更なる連携強化や、地域における見守り体制の充実を図るとともに、市の子育て支援事業の情報を効果的に周知する必要があります。

■ 今後の方向性

第2期盛岡市子ども・子育て支援事業計画における地域ごとの教育・保育の必要な量の見込みと、空き待ち児童の現状を比較しながら、保育所定員の弾力化などに、引き続き支援を行います。

保育士確保対策について、支援策の効果分析を行うとともに、保育関係者からの意見を伺い、今後の支援策を検討していきます。

0歳児の受入体制確保のための支援策について、他都市の先進事例を調査するとともに、保育関係者からも意見を伺い検討していきます。また、児童センター・放課後児童クラブの整備を計画的に進めていきます。

子育て負担の軽減と子育て支援の充実については、児童数が増加している盛南地区への地域子育て支援拠点の開設を検討するほか、幼児教育・保育の無償化に加えて、年収550万円未満相当の世帯における第2子以降の保育料の無償化や実費徴収となった副食費の補助、放課後児童クラブの利用料等の軽減など、子育ての経済的な負担軽減の取組を継続します。

増加する児童家庭相談への対応を強化するため、岩手県との人事交流を継続し、職員の相談対応スキルアップと関係機関との連携強化を図ります。

また、SNS等を活用した、効果的かつ積極的な情報発信や子育て支援施策の周知の強化に取り組みます。

重点3 2020あつまる・つながるまちプロジェクト

(取組期間：平成30年度～令和3年度)

本市を訪れる旅行客が満足し、選ばれる観光地域となるため、歴史や自然、文化などの恵まれた観光資源を生かし、ブラッシュアップするとともに、様々な媒体を通じ、本市の魅力を積極的にプロモーションしました。

また、コロナ禍におけるオンラインや感染予防に留意したイベントの開催などを実施し、交流人口の拡大を図りました。

■ 重点事業の実績

(単位 千円)

No.	重点事業	施策番号	計画額	実績額	翌年度繰越額
1	大型観光キャンペーン事業(東北DC)	24	1,337	957	0
2	生涯スポーツ推進事業(競技大会等開催事業(スポーツクライミング第4回コンバインドジャパンカップ))	13	2,000	597	0
3	姉妹都市等国際交流事業(盛岡市・花蓮市友好都市交流事業)	28	2,838	2,603	0
4	移住・定住・交流人口対策事業	14	32,764	30,144	0
5	地域おこし協力隊活用事業(関係人口の創出・拡大)	14	11,818	8,685	0
6	芸術文化活動振興事業(盛岡国際俳句大会)	12	5,600	5,600	0
7	姉妹都市等国際交流事業(ホストタウン機運醸成事業)	28	771	47	0
8	姉妹都市等国際交流事業(ビクトリア姉妹都市提携35周年記念事業)	28	8,208	991	0
9	生涯スポーツ推進事業(競技大会等開催事業(いわて盛岡シティマラソン))	13	39,000	30,000	0
10	地域おこし協力隊活用事業(スポーツを通じた盛岡広域の魅力発信)	13	1,723	1,672	0
11	盛岡広域連携スポーツツーリズム推進事業	13	62,635	38,184	0
12	観光団体育成強化事業(盛岡伝統芸能常設公演事業)	24	5,700	5,700	0
13	観光客誘致宣伝事業(東北六都市連携広域観光プロモーション事業)	24	3,000	0	0
14	大型観光キャンペーン事業(岩手もりおか復興フェスタ開催事業)	24	1,000	0	0
15	盛岡ブランド確立事業	14	11,577	11,574	0

No.	重点事業	施策番号	計画額	実績額	翌年度繰越額
16	盛岡三大麺普及事業	22	195	0	0
17	地場・伝統産業振興事業(特産品ブランド振興事業)	23	132	0	0
18	地場・伝統産業振興事業(盛岡市の物産と観光展開催事業)	23	3,964	3,964	0
19	地場・伝統産業振興事業(盛岡デー開催事業)	23	3,272	3,272	0
20	盛岡地区かわまちづくり事業	14	3,030	1,120	0
21	いしがきミュージックフェスティバル支援事業	19	3,000	0	0
全21事業 事業費合計			203,564	145,078	0

- ・ 生涯スポーツ推進事業（競技大会等開催事業（スポーツクライミング第4回コンパインドジャパンカップ））
新型コロナウイルス感染症により大幅な観客制限を行ったため、会場警備に係る経費が大幅に減額になったほか、会場装飾費も減額となったため、実績額が小さくなりました。
- ・ 姉妹都市等国際交流事業（ホストタウン機運醸成事業）
新型コロナウイルス感染症の影響により、当初企画していた演奏会が中止、講演会もオンラインで行ったことにより経費が削減されたため、実績額が小さくなりました。
- ・ 姉妹都市等国際交流事業（ビクトリア姉妹都市提携35周年記念事業）
予定していた盛岡市、ビクトリア市の相互訪問が、新型コロナウイルス感染症の影響による渡航制限で中止となったため、実績額が小さくなりました。
- ・ 生涯スポーツ推進事業（競技大会等開催事業（いわて盛岡シティマラソン））
新型コロナウイルス感染症の影響により、公道でのマラソンを中止し、オンライン開催としたため、実績額が小さくなりました。
- ・ 盛岡広域連携スポーツツーリズム推進事業
当初実施予定であったもの（ラグビーカナダ・柔道マリ事前キャンプ、聖火リレー市内走行、東京オリパラ試合観戦、パブリックビューイング）を実施していないため、実績額が小さくなりました。
- ・ 観光客誘致宣伝事業（東北六都市連携広域観光プロモーション事業）
新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となったため、実績額が皆減しました。
- ・ 大型観光キャンペーン事業（岩手もりおか復興フェスタ開催事業）
新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となったため、実績額が皆減しました。
- ・ 盛岡三大麺普及事業
感染症の影響により、盛岡三大麺普及協議会の事業や全日本わんこそば選手権が中止となり、それに伴い、同協議会からの負担金請求が無かったため、実績額が皆減しました。
- ・ 地場・伝統産業振興事業（特産品ブランド振興事業）
プレミアムブランド品の申請がなかったことにより、認定会議を開催しなかったため、実績額が

皆減しました。

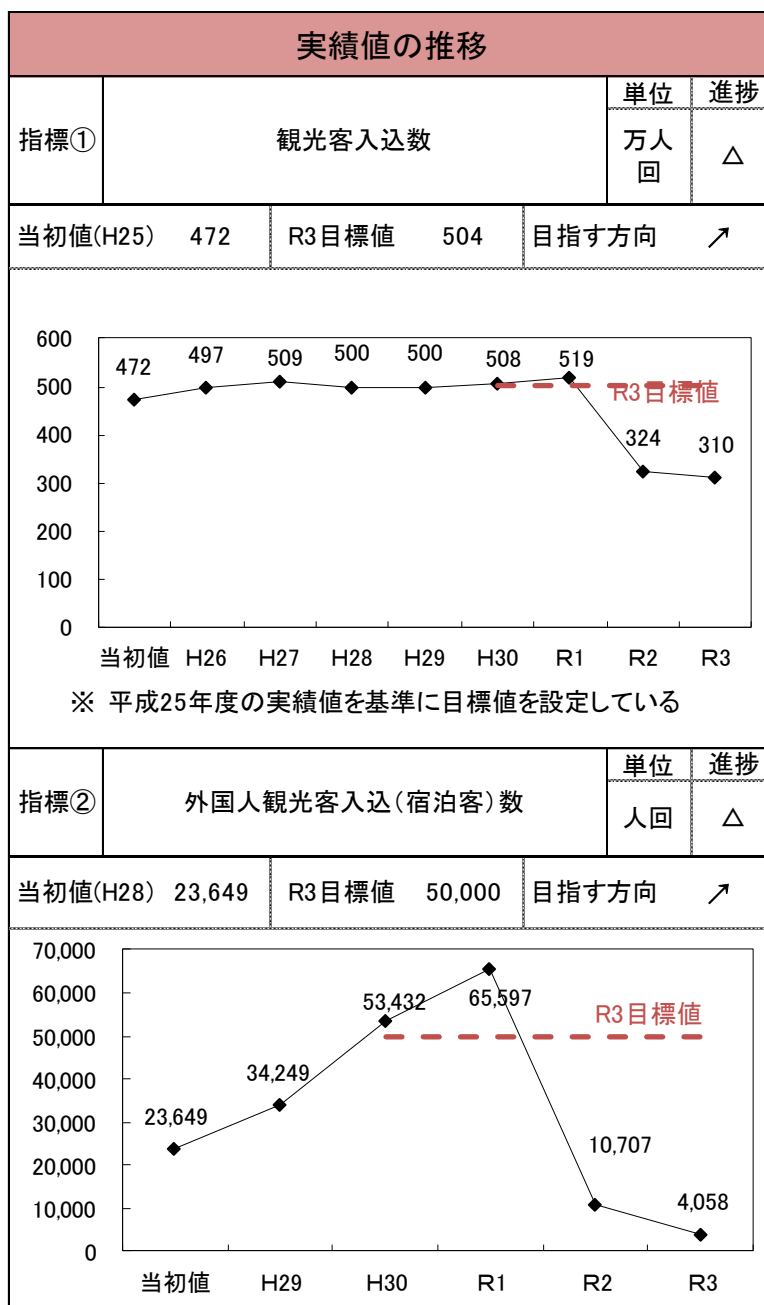
- 盛岡地区かわまちづくり事業

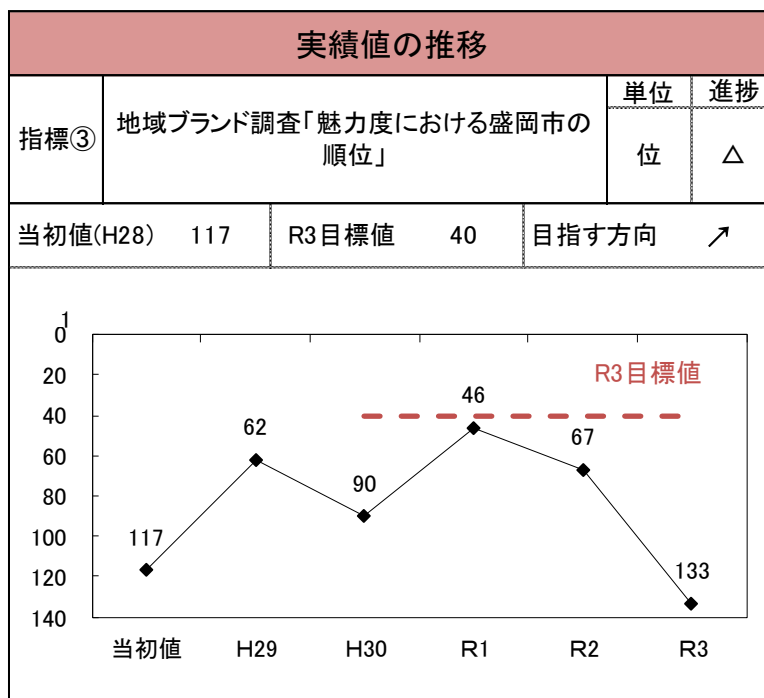
令和3年度に予定した船着き場看板設置業務委託が、国土交通省において実施することとなったため、実績額が小さくなりました。

- いしがきミュージックフェスティバル支援事業

新型コロナ感染拡大防止のため、いしがきミュージックフェスティバルは中止となり、同フェスティバル実行委員会への運営事業費負担金が不要となったため、実績額が皆減しました。

■ 指標の状況





- ・ 観光客入込数／△ 遅れが生じている

国内外におけるコロナ禍により、本市においても海外渡航の制限のほか、国内における移動の制限や自粛の意識の高まりによる影響を大きく受け、目標値を下回る状況となりました。

そのような中、宿泊料の補助や令和3年4月からの東北DC*などの国内プロモーションなどを実施して、域内観光の需要喚起に取り組みました。

- ・ 外国人観光客入込（宿泊客）数／△ 遅れが生じている

国内外におけるコロナ禍により、いわて花巻空港の中国、台湾の国際定期便をはじめ、海外渡航が制限される状況となり、大幅に減少し、現在においても外国人観光客の需要回復時期が見込まれない状況となっています。

- ・ 地域ブランド調査「魅力度における盛岡市の順位」／△ 遅れが生じている

職員が情報発信を効果的に行うためのマーケティング研修や情報交換を行いました。新型コロナウイルスの影響による各種イベントの中止など、市外に向けたプロモーションが計画どおり行えませんでした。

■ 主な成果と課題

- ・ 観光客誘致等の取組

(成果)

令和3年4月からの東北DCに併せて、つなぎ温泉の宿泊施設において盛岡さんさ踊りによる「つなぎ温泉観光協会伝統芸能常設公演事業」を実施し、コロナ禍における国内観光需要の喚起による誘客促進に取り組みました。

(課題)

コロナ禍により、首都圏におけるプロモーション事業が中止となるほか、祭り・イベントについても、中止せざるを得ない状況となり、指標の向上につなげる取組が十分にできない状況であり、今後においても集客につなげる取組が困難な状況が継続する見込みであることから、域内観光需要の喚起

* 東北デスティネーションキャンペーンの略。東北6県の自治体や観光関係者とJR6社などが一体となって行う大型の観光キャンペーンです。

策やアフターコロナを見据えた施策に取り組む必要があります。

- ・ 外国人観光客等の誘致拡大

- (成果)

- 無料公衆無線 LAN サービス「盛岡 City Wi-Fi」について、令和 4 年度の面的整備に向けて調査を行い、外国人観光客の受入環境の向上を図る取組を行いました。

- (課題)

- コロナ禍により、海外渡航の制限が継続しており、需要の回復時期が見込まれない状況です。

- ・ 盛岡市の魅力度向上

- (成果)

- 市内の様々なプロモーションにおいてマーケティングや戦略的な情報発信の手法を取り入れることが出来るよう、セミナーや情報交換を行い関係各課との連携を図ることで、市内の情報発信力の向上を図ることができました。

- ふるさと納税の寄附者数増加に向けて、盛岡ブランド認定品を市外住民に知ってもらうことを目的に、首都圏の女性をメインターゲットとしたデジタルプロモーション及び効果測定を実施しました。

- 関係人口を機軸とした移住・定住・交流人口対策事業として「盛岡という星で」プロジェクトを展開し、東京圏在住の若年層に向けた SNS 等による情報発信や、盛岡関連コミュニティの形成を行うことができました。

- 北上川において、かつて盛んだった舟運の実現に向けて木造船「もりおか丸」等の運行実験（3 回）や、北上川沿川の木伏緑地や八幡町・大慈寺・鉈屋町界隈の各種イベントと連携した開港祭を開催し、安全・安心な船の運航に向けた取組ができました。

- (課題)

- 移動やイベントの自粛など、本市の情報と接触する機会が損なわれるコロナ禍の状況においても効果を発揮する情報発信について検討することと併せ、帰省の制限などによりふるさとへの想いが募る機会となっていることや、地方暮らしへの関心の高まりを好機と捉え、新たな人の流れの創出に向けた受け皿づくりを進める必要があります。

- 舟運講演会は、新型コロナウイルス感染症の影響のため令和 4 年度に延期したことから、コロナ禍におけるイベントの開催に向けた対策が必要です。

■ 今後の方向性

コロナ禍による国内外における観光需要への影響や、今後も起こりうる社会情勢の変化に対応する新しい観光のあり方の構築に向けて令和 3 年度に策定した「盛岡市観光推進計画ポストコロナ時代を見据えたアクションプラン」に基づき、各施策を推進します。

依然として海外渡航制限により外国人観光客の入込が見通せない中においては、首都圏プロモーションの積極的な展開や、令和 3 年度に実施したつなぎ温泉での盛岡さんさ踊りの常設公演の継続のほか、市内中心部でのさんさ踊りの定期的な披露、イルミネーションイベントによる冬季観光の賑わいづくり等により、通年型観光の実現を目指すとともに、国内観光需要の喚起による誘客促進に取り組みます。

また、Wi-Fi 整備やデジタルマップを活用した観光情報の提供など、観光客受け入れのための環境の充実を図り、まちなか観光の推進に取り組みます。

盛岡市シティプロモーション指針及び推進計画（令和 2 年度～6 年度）に基づき、「盛岡という星で」プロジェクトによる市外住民に向けた情報発信や、市民や事業者による主体的な情報発信の場を形成することなどを通じ、シティプロモーションを推進します。